



平川市議会議員

# 葛西はやと

みんなが笑って暮らせる社会にしたい！



## Report (津島淳代議員・国政報告会)

市政報告はこちらを  
ご参照下さい ▶

### 1 講演概要

- (1) 日時  
2026年4月5日(日) 13:00~14:30
- (2) 場所  
ホテル青森 3階 孔雀の間
- (3) 講演者  
内閣府副大臣 衆議院議員 津島 淳 様

### 2 目的

本講演に参加し、国政における役割及び地域課題への対応、並びに今後の成長戦略について理解を深めるとともに、地域課題解決に向けた施策立案の参考とすることを目的とした。

### 3 内容(要約)

#### (1) 現在の担当分野と役割

内閣府副大臣として、防災、海洋政策、領土問題(沖縄・北方)、消費者・食品安全、少子化対策、子ども政策、若者支援、男女共同参画、地方創生など、幅広い分野を横断的に担当している。

特に、  
・若者の地元定着  
・子育てしやすい環境整備  
・地域実情に即した支援策の構築  
を重視し、総合的に地域課題解決に取り組んでいる。

#### (2) 地域との連携強化

地域課題の解決にあたっては、  
・首長、議員、地域団体との密接な連携  
・緊急時に直接連絡できる体制の構築  
・現場の声の迅速な国政への反映  
を重視している。  
「直接つながる関係性」を基盤とし、防災を含めた迅速な対応体制の構築を進めている。

#### (3) 除雪・災害対応の課題

青森県特有の課題である除雪について、  
・雪は「日常」であると同時に「災害」である  
・予算が使い切れていない(制度と現場の乖離)  
・デジタル化による効率化の必要性  
が指摘された。  
今後は、  
・国・県・市町村・事業者の連携強化(夏期から)  
・PDCAによる改善  
・安定的な財源確保による持続可能な体制構築  
を進め、陳情に依存しない仕組みづくりを目指す。

#### (4) 水産・産業支援

水産業をはじめとする地域産業については、  
・人材不足 ・予算制約 ・制度の使いにくさ  
が課題である。これに対し、

- ・約1億5千万円規模の初期支援
- ・内閣府予算の活用による補完
- ・使いやすい制度への見直し
- ・地域主体の取組支援(例:ホタテ、スルメイカ)を進めており、継続的支援の必要性が示された。

#### (5) デジタル・AI活用

人口減少・人手不足への対応として、  
・AIによる業務効率化  
・自治体間の広域連携  
・デジタル基盤整備  
を推進し限られた人材で持続可能な行政運営を目指す。

#### (6) 物価高対策・交付金

物価高対策に係る交付金について、  
・青森県配分:約176億円  
・使用済:約113億円 ⇒残額:約63億円  
となっており、今後のエネルギー価格上昇を見据え、未使用分の有効活用が重要である。

#### (7) 今後の成長戦略

青森県の未来に向けた重点分野は以下のとおり。

##### ① 新産業創出

・フュージョン(核融合発電)など先端分野のエネルギー技術開発→国際標準の主導権確保  
※核分裂発電より放射能減、低レベルが利点。

##### ② 放射線技術の活用

・医療(がん治療薬など)  
※微量な放射性廃棄物をどう処理するかが課題。  
・研究開発拠点の形成及び関連産業の集積  
→地域に雇用と新たな企業を生む基盤づくり

#### (8) 地域づくりの基本方針

目指す地域像は以下のとおり。  
・若者が戻りたくなる地域  
・子どもが安心して育つ環境の充実  
・健康見える化により、楽しく健康づくり進む社会  
特に  
・健康増進による医療費抑制  
・地域コミュニティの再構築  
を重視していく。

#### (9) 地域未来交付金(内閣府)

- ①デジタル実装型 例:予約管理システム
- ②地域未来推進型(新規) 例:猛暑に強い水稻栽培

#### (10) まとめ

今後も、「地域の声を国政へ届ける」ことを使命として、青森県発展のため全力で取り組んでいく。

### 4 所感

今後も、国の施策の情報を収集し、それを的確に活用するとともに、地域主体の視点を持って具体的な取組へとつなげていくことが重要であると感じた。



平川市議会議員

# 葛西はやと

みんなが笑って暮らせる社会にしたい！



■ Report (津島淳代議士・国政報告会) 市政報告はこちらをご参照下さい ▶



内閣府副大臣 衆議院議員 津島 淳 国政報告会の様子